

2025. 5 月速報 業況DIは大型連休中の消費が振るわずほぼ横ばい。先行きは米国関税措置への懸念拭えず慎重な見方

全産業合計の業況DIは、▲18.0（前月比+0.5ポイント）。建設業は、設備投資をはじめとした民間工事の持ち直しで改善。小売業は、長引く消費の低迷に加え為替の円高方向への推移でインバウンド需要にも落ち着きが見られ、悪化。その他の業種は、好材料はありつつも、消費低迷・米国関税措置への懸念・コメ価格の高騰などが足かせとなり、ほぼ横ばいにとどまりました。設備投資需要は堅調に推移していますが、米国関税措置が足かせとなっており、コメ価格を含む物価高により消費マインドも低迷しています。今年の大型連休はこうした状況に日並びの悪さが加わったことで、消費が例年と比べると振るわず、中小企業の業況はほぼ横ばいにとどまりました。

【産業別概況と見通し】 前月と比べたDI値の動き ➡改善 ➡ほぼ横ばい ➡悪化



公共工事では一服感が見られるものの、設備投資をはじめとした民間工事が持ち直しつつあり、改善。一方、依然として建築資材価格高騰や人手不足が足かせになっているという声も聞かれた。

- ・「民間工事の受注が多くなってきているように感じる。コスト増加分の価格転嫁についても、徐々にではあるが進んでいる」（一般工事業）
- ・「生コンクリート、骨材、アスファルトなど、幅広い品目の建築資材で価格高騰が続いている。労務費も上昇しているほか、人手不足で社員の高齢化も進んでいる」（土木工事業）



設備投資需要の下支えにより機械器具関係は堅調に推移するものの、米国関税措置の動向の不透明さが足かせとなり、ほぼ横ばい。

- ・「現状では受注は堅調に推移しているが、取引先は北米への輸出割合が高いため、トランプ関税の動向によっては自社の受注減につながる恐れもあり、今後の動向を注視している」（民生用電気機械製造業）
- ・「原材料価格上昇分とは別で、労務費上昇分についても取引先に価格転嫁を認めてもらったので、今後の採算は改善する見込みである」（調味料製造業）



建設業からの引き合いを受けた建築材料関係は堅調に推移する一方、コメをはじめとした仕入価格の高騰が足かせとなり、ほぼ横ばい。

- ・「資材価格の高騰が続いていることで引き合いが少なく、売上が悪化している。当面の間は状況が変わることはないと考えられ、厳しい経営環境に置かれると思う」（建築材料卸売業）
- ・「コメ価格の大幅な上昇で買い控えが起こり、売上が減少し続けている」（食料・飲料卸売業）



物価高に伴う節約志向の高まりが継続しているほか、為替が円高方向に推移したことでインバウンド需要にも落ち着きが見られ、悪化。コメの仕入れに難儀しているという声も聞かれた。

- ・「物価の上昇に賃金の伸びが追いついておらず、消費マインドが悪化した状態が続いていると感じる」（商店街）
- ・「入荷できるコメの量と種類が限られており、顧客のニーズに応えられない。備蓄米についても取引先の卸売業者が扱っておらず、入荷できていない状況である」（米穀類小売業）



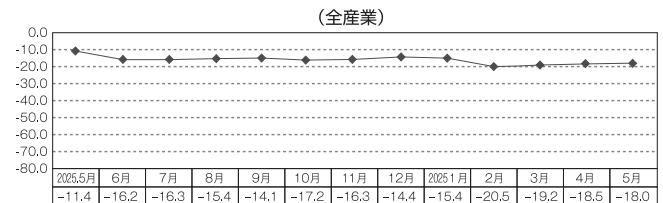
飲食店や宿泊業を中心に大型連休の恩恵はあったものの、連休の日並びの悪さや消費マインドの低迷が足かせとなり、ほぼ横ばい。

- ・「大型連休では例年ほどの恩恵は受けられなかった。コメを含む原材料価格も高騰しており、採算が悪化している」（飲食店）
- ・「物価上昇による実質賃金の伸び悩みにより、余暇への支出が減っていると感じる。宿泊を伴わない日帰り旅行が増えているように思われるため、物販といった日帰り客向けのサービスを強化する必要があると考えている」（宿泊業）

業況DIの推移

	2024年 12月	2025年 1月	2月	3月	4月	5月	見通し 6~8月
全産業	▲14.4	▲15.4	▲20.5	▲19.2	▲18.5	▲18.0	▲17.4
建設業	▲11.3	▲10.6	▲16.7	▲15.6	▲17.7	▲13.8	▲15.0
製造業	▲21.4	▲20.7	▲25.0	▲24.7	▲23.0	▲22.3	▲17.2
卸売業	▲17.5	▲17.2	▲19.5	▲17.6	▲23.1	▲23.7	▲25.8
小売業	▲20.2	▲19.7	▲28.5	▲23.1	▲23.5	▲25.2	▲23.0
サービス業	▲3.4	▲9.4	▲13.0	▲13.9	▲8.6	▲8.5	▲11.0

※見通しは、当月に比した向こう3ヶ月の先行き見通しDI



※調査期間：2025年5月15日～21日

全国322商工会議所が2,452企業にヒアリング（東北については、被災を免れた企業や被害が軽微な企業から回答）

※DI値（景況判断指数）

業況・売上・採算などの各項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準として、景況感の相対的な広がりや意味する。

県内企業倒産発生状況

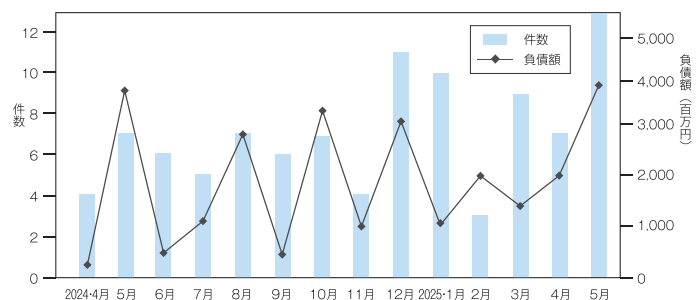
5か月ぶりに二桁台、前月に比べ件数は大幅に増加

〈令和7年5月概況と見通し〉

山形県内の経済は、緩やかに持ち直しているものの、個人消費が回復し切れていない実情などから弱含みの動きが続いていると見られています。また、県内人口が統計の開始された1920年以来初めて100万人を割り込む推計値が発表され、賃上げは進まず値上げラッシュだけが続く上に、総体的な購買者数の減少も加わり、今後も個人消費が回復するかは不透明な情勢です。トランプ関税や米中貿易摩擦による負の影響が徐々に地方経済へと波及する危険性も懸念され

る中、金利上昇などが追い打ちとなって、コロナ禍以降の業績が回復が立ち遅れている企業や過剰債務を抱える企業の資金調達に支障を来す恐れも想定されます。今後も息切れ企業を中心に、倒産件数は一進一退を繰り返しながら、緩やかな増勢を辿る可能性が指摘されています。

山形県 月別倒産件数 負債額



	東 南 置 賜		山 形 県	
	件数	負債金額	件数	負債金額
令和7年5月	1	百万円 122	13	百万円 3,778
前月比(%)	-	-	185.7	185.4
前年同月比(%)	100.0	871.4	185.7	100.0

東南置賜…米沢・南陽・高畠・川西

資料／東京商工リサーチ

県内消費者物価指数 前年の水準を上回った

令和7年4月	指数	前月比(%)	前年同月比(%)
食料	125.8	0.1	7.1
住居	108.6	0.4	1.5
光熱・水道	118.3	5.8	8.0
家具・家事用品	122.2	1.8	3.2
被服及び履物	116.5	1.2	3.7
保健医療	104.9	▲0.2	1.2
交通・通信	100.0	0.6	2.6
教育	88.4	▲11.6	▲11.7
教養娯楽	114.8	0.0	1.0
諸雑費	103.8	▲1.5	▲0.3
総合	112.8	0.5	3.5

資料：山形県みらい企画創造部統計企画課

百貨店・スーパーの商品別販売額 県内の販売額は前年を上回った

令和7年3月 (単位：百万円、%)

地域 品目	全 国		山 形 県	
	百貨店＋スーパー		百貨店＋スーパー	
	販売額	前年同月比 全店舗	販売額	前年同月比 全店舗
紳士服・洋品	39,388	▲7.1	152	6.7
婦人・子供服・洋品	144,413	▲5.5	171	▲1.8
その他の衣料品	11,825	▲4.5	31	5.6
身の回り品	101,437	▲9.5	27	10.6
飲食物品	1,260,972	5.6	11,383	5.5
家具	8,337	4.1	77	5.1
家庭用電気機械器具	15,585	3.5	45	▲7.7
家庭用品	36,535	▲1.4	217	▲16.3
その他の商品	304,633	2.8	762	4.6
食堂・喫茶	12,321	▲5.2	33	1.5
合計	1,935,445	2.8	12,900	4.8

経済産業省 東北経済産業局調べ
(注・販売額は四捨五入の関係で合計とは一致しない場合があります)

※発表時期の都合により前月と同じデータを掲載。次号より順次更新予定です。

米沢市建築確認申請状況（専用住宅） 件数・床面積とも前年を下回った

令和7年5月		件 数			床 面 積 (㎡)		
		2・3号建築物	4号建築物	小 計	2・3号建築物	4号建築物	小 計
総 数	新 築	0	8	32	0	1,082	1,082
	増 築	0	2	1	0	191	191
	総 数	0	10	33	0	1,273	1,273
前月比(%)	総 数	0.0	250.0	660.0	0.0	316.7	231.9
前年同月比(%)	総 数	—	62.5	100.0	—	54.6	54.6

専用住宅 2・3号建築物…建築基準法第6条第1項2・3号建築物（木造3階建築物、木造以外の2階以上建築物など）
4号建築物…建築基準法第6条第1項4号建築物（2・3号に挙げる建築物以外、木造2階住宅など）

米沢市の人口と世帯数

令和7年5月1日現在

人 口 76,034人 (77,318人)

世帯数 33,550世帯 (33,585世帯) 一世帯当たり 2.27人 (2.30人)

() 内前年同月データ 資料／米沢市政策企画課統計調査担当

一般職業紹介 有効求人倍率は前年を0.05ポイント上回った

米沢市 新規卒除きパートタイム含む

		求人数	求職数	求人倍率	充足数
令和7年4月	有効	2,717	2,394	1.13	252
	新規	1,062	748	1.42	—
前月比(%)	有効	94.2	105.6	89.0	83.4
	新規	99.7	122.4	81.6	—
前年同月比(%)	有効	107.1	92.4	104.6	71.6
	新規	118.1	95.5	88.8	—

充足数…自安定所の有効求人が安定所の紹介により、求職者と結合した件数

職種別（山形県）

	求人数	求職者数	求人倍率
管 理	38	33	1.15
専 門 ・ 技 術	3,580	1,938	1.85
事 務	2,132	4,604	0.46
販 売	2,056	1,028	2.00
サ ー ビ ス	4,065	1,980	2.05
保 安	600	140	4.29
農 林 漁 業	389	313	1.24
生 産 工 程	3,091	2,379	1.30
輸送・機械運転	1,071	576	1.86
建設・採掘	1,590	294	5.41
運搬・清掃	1,820	3,338	0.55
そ の 他	0	1,538	—

(主要業務指数・パートタイムを含む全数)
資料：山形労働局職業安定課

